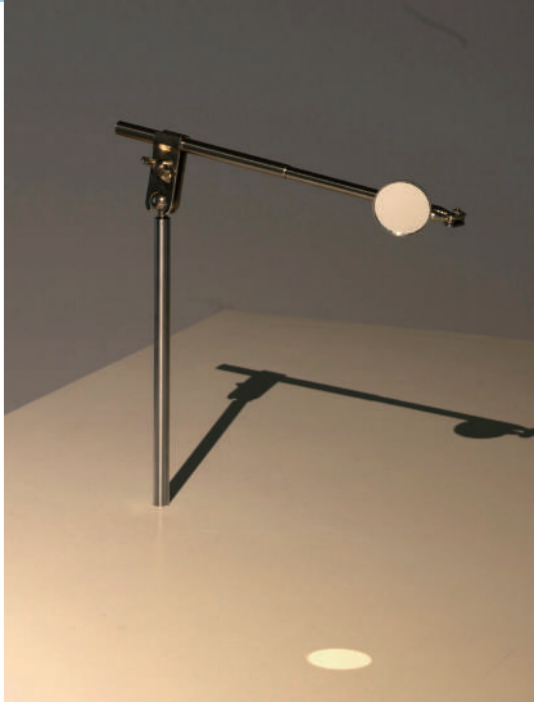


2024年12月17日(火)–2025年2月21日(金)

休館=12月27日–1月1日 開館時間=9:00–17:00(入場は16:30まで)

高知県立美術館

三 嶽 伊 紗 | カ ゲ ヲ ウ ツ ス



《月の机》(部分)2014年 撮影:米津 光



《カゲ ヲ ウツス》2020年



石に
カゲヲ
ウツス

よく憶えてないが随分前、
ガラスは原子の並びが不規則で、
途方もなく長い時間をかけ溶けていくのだ
と聞いたことが在る。
水の溶けるさまが浮び、
前にあるガラスのコップが少し揺れた。
緩やかに流れるもの
移ろいゆくものの通か先、
一瞬、垣間みるような
奇妙な感覚。



《カゲ ヲ ウツス》2024年

今日
ヲ
ウツス

冬の昼過ぎ、
畳のうえで転寝をする。
かなり
眠っていたのだろう。
眼が醒めると雨。
陽は傾き、
明るかった窓の外は、
色を失い、
不思議な
奥行きだけが残り、
シルエットとしての
カタチは奇妙に映えた。
そこに在るのは、
モノではない。
影だけだ。



曖昧

な

網膜

右:表面
ピンホールカメラによる新作
2024年



左:《イロノ机ノ20》2020年 右:《月の机ノ20》2020年 京都芸術センター展示風景 撮影:守屋友樹

月

視差

雑然とした仕事場に椅子がある。
本にをする訳でもなく
ただそこに居るだけの場所だ。
そこに座り庭の夏椿をみる。
毎年夏のはじめに白い花をつけるが、
昼の長い時だから
多分それは夏の遅い夕方、
私は白い花をみる。
去年もここでこうしてみていたと思ったとき、
確かに一年前のわたしが
私の直ぐ横に居た。



《ユリヲミル》2024年

並行する
昨日

眼を
閉じることなく、
夢の中を
覗いてみたいと思う。



《並行する昨日ノシロイ夜》2020年

石に
化すユリ

●……「アーティストによるギャラリートーク」
作家が会場にて、本展についてお話しします。
日時…12月21日(土)午後2時より
会場…当館1階 展示室D [要観覧券予約不要]

●……「学芸員によるギャラリートーク」
日時…2025年1月18日(土)午後2時より
会場…当館1階 展示室D [要観覧券予約不要]

●……「クロストーク」
作家と担当学芸員による対談形式で、本展やこれまでの活動についてお話しします。
日時…2025年2月15日(土)午後2時より
登壇…三嶽伊紗十朝倉芽生(当館学芸員)
会場…当館1階講義室 [参加無料/予約不要]

●……「観覧料」

一般370円(290円)、大学生260円(200円)、高校生以下無料
※()内は20名以上の団体料金。
※年間観覧券所持者は無料。※身体障害者手帳、療育手帳、
精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳
及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、
高知県及び高知市長寿手帳所持者は無料。
※当館企画展「河田小龍」展(11/27-1/5)、「浜田浄」展(2/8-4/13)
観覧券所持者は無料(当日限り有効)。
※本展観覧券で開催中のコレクション展もご覧いただけます。



2024年12月17日(火) | 2025年2月21日(金)
休館日…12月27日(金) | 1月1日(水)
開館時間…午前9時 | 午後5時(入場は午後4時30分まで)

高知県立美術館

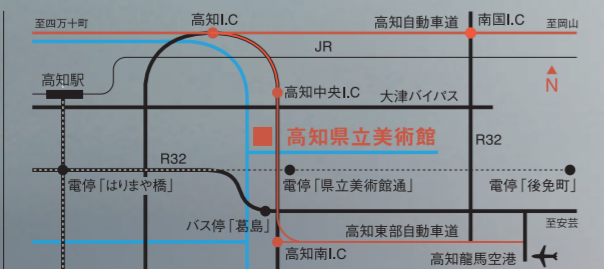
主催…高知県立美術館(公益財団法人高知県文化財団)
協力…ギャラリーヤマガタ株式会社、京都樹脂株式会社、有限会社山本製作所、谷川原吉春、脇原大輔
後援…高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送
KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知

水平線

ARTIST FOCUSの第5回として、高知県高知市出身の美術作家、
みたけいさ
三嶽伊紗の個展を開催します。
三嶽は、視覚をはじめとした人間の認知能力や、事物の存在の不思議への
尽きせぬ関心を、理知的かつ繊細な手つきによって、オブジェや
インスタレーション、映像といった美術作品として昇華させてきました。
三嶽が手掛ける造形物の、検査器具や実験装置を彷彿させる抑制
的な佇まいは、「当たり前前にモノやカタチをつくらない」という姿勢
に裏打ちされています。
キャリアの半ばから取り組み始めた、デジタルカメラとコンピュータに
よる映像表現は、はじめから「モノではない」という点で、作家の探求
にうってつけの媒体でした。

「写す」あるいは「映す」という、それぞれ映像の「記録」と「投影」を表す
同訓異字は、いずれも「移す」を語源としています。本展タイトルにある
「ウツス」の語、ひいてはその読み響きには、「移す/写す/映す」という
それぞれの言葉が持つ複数の意味が託されているといえるでしょう。
そこには、光学機器を通して像を結んだ風景も、太古の姿を今に
留める植物の化石も、さらには眠りの中で見る夢でさえも、なにかを
「ウツス」ある種の映像であるという三嶽の姿勢が反映されています。
関西を拠点に精力的な活動を展開してきた作家の、故郷では初の個展
となる本企画では、近作を中心にその作品世界をご覧いただけます。
生まれ育った高知の風景を織り込んだ映像作品など、三嶽の新た
な試みにもご注目ください。

消失点
のない海



高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI

781-8123 高知市高須353-2
Tel.088-866-8000 Fax.088-866-8008 moak.jp

交通案内=●はりまや橋から、とさでん交通路面電車「ごめん」(頓石通)
または[文殊通]行きで15分。[県立美術館通]下車徒歩5分。●高知龍
馬空港から、空港連絡バス「葛島」下車徒歩15分。●車・タクシーをご利用
の場合は、JR高知駅から約20分、高知龍馬空港から約20分、高知
自動車道高知インターから10分、高知中央インターから53分。

*ARTIST FOCUSは、アーティストの年齢を問わず、当館学芸員が推薦した高知ゆかりの作家を紹介する展覧会シリーズ